

第7回 生活習慣病教室

「認知症について」

■日 時：平成22年10月7日（木）14時半開始—15時半終了

■場 所：牛久愛和総合病院 B館2階大ホール

■講 師：神経内科 吉田医師

認知症について知っておきたい基礎知識を紹介します。

歳をとると誰もが忘れっぽくなりますが、たとえば食べたメニューを思い出せないのは単なる忘れです。しかし、もし食べたこと自体を覚えていなければ認知症の疑いがあります。

認知症とは

脳や身体の病気が原因で記憶・判断力などの障害がおこり、普通の社会生活が困難になる状態で、タイプはいくつかわかれます。

【アルツハイマー型認知症】

脳の神経細胞が減って脳が小さく萎縮してしまうために症状が出るタイプ

【脳血管性認知症】

脳の血管が詰まったり破れたりして、その部分の脳の働きが悪くなるために症状が出るタイプ

【その他の認知症】

レビー小体が大脳皮質にたまってしまうことによる「レビー小体型認知症」など

おや？と思ったら相談を

認知症は徐々に進行する病気ですが、早めに症状にあった治療と介護を始めれば、進行がゆるやかになることがあります、認知症とともに穏やかに暮らしていくことができます。「ひょっとしたら・・・？」と思ったら。まずは医療機関もしくはその他の相談窓口にご相談しましょう。

病院に行く前に知っておきたいことアレコレ

Q どのようにして検査するの？

一般的には、医師と対面して問診で診断します。そのほか、記憶や認知機能の程度を調べる検査や、脳の状態を視る画像が行われることもあります。

Q 何科に行けばいいの？

一般的には神経内科、精神科、診療内科、脳外科で診てもらえます。何科を受診したらよいか迷った時は、普段から診ていただいているかかりつけ医に相談して紹介してもらっても

よいでしょう。